

平成30年度 リフトリーダー養成研修開催要項

1 目的

介護労働者の身体的負担軽減や腰痛予防のため、移動用リフトをはじめとする福祉用具の活用が望まれるところであるが、普及が進んでいないのが現状である。

その原因としては、福祉用具に関する情報不足のほか、具体的な利用方法や有効な使用、導入に際してのアセスメント手法、モニタリングやその結果に対するフォローアップ等専門的知識・技術を学んだ介護職員や人材を養成する指導者の不足などが考えられる。

一方、平成21年度より厚生労働省において、介護労働者の身体的負担軽減や腰痛を予防し、介護労働者の雇用の安定を図るための助成金制度を実施している。

このような制度を有効に活用するため、介護労働者の身体的負担軽減や腰痛予防のためのリフト等、福祉用具の導入を推進するために必要な知識及び技術を付与する研修（以下、「リフトリーダー養成研修」という。）を行い、リフト等の使用に関し事業所等における指導的役割を担う人材（リフトリーダー）の養成を行うことを目的とする。

2 主 催 プラネット愛媛・愛媛県福祉サービス協会

3 共 催 公益財団法人テクノエイド協会
愛媛県介護実習・普及センター

4 協 力 JASPA リフト関連企業連絡会

5 定 員 30名 ※ 定員になりしだい締め切ります。

6 期 日 平成30年8月10日（金）～11日（土）

7 内 容 別添のとおり

8 会 場 愛媛県総合社会福祉会館 研修室他
松山市持田町三丁目8-15 TEL 089-921-8348

9 受講資格

- (1) 施設等に所属する職員又は事業主で、福祉用具に関心を持ち、リフト等を積極的に導入して職場内の介護労働者に対し腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者
- (2) 施設等へリフトをはじめとする福祉用具を導入することによって、当該職場内の介護労働者に対し、腰痛予防対策を積極的に推進しようとする福祉用具関連事業者
- (3) 福祉用具の適正な販売・活用指導にかかわる福祉用具専門相談員
- (4) その他「持ち上げない介護」推進に賛同し、主催者が認める者

- 10 参加費 受講料 15,000円 別途 テキスト代 1,500円
- 11 申込方法 別添の受講申込書に必要事項を記入のうえ、下記まで申し込みください。
- 12 申込締め切り 平成30年7月20日(金) 必着
- 13 修了証書の交付
全課程の受講修了者に対し「公益財団法人テクノエイド協会」理事長名による『リフトリーダー養成研修修了証書』を交付します。
リフトインストラクター資格制度試験を受講の場合は、後日試験結果の発表があります。
- 14 その他 (1) 受講の可否については、8月1日(水)までにお知らせします。
(2) 会場の駐車場には限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。
(3) 不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 15 申込・問い合わせ先
愛媛県福祉サービス協会(担当 近藤)・プラネット愛媛(池田)
〒790-8553
松山市持田町三丁目8-15 愛媛県総合社会福祉会館
愛媛県介護実習・普及センター福祉用具展示場内
TEL 089-921-8348 FAX 089-921-8397
メール s-fukusi@lemon.plala.or.jp

平成 30 年度 リフトリーダー養成研修 日程・内容

日程 平成 30 年 8 月 10 日 (金)

8 月 11 日 (土)

会場 愛媛県総合社会福祉会館 研修室 他

受付 午前 8 時 30 分より受付

	項 目	内 容	時間	講 師
1 日 目	リフトリーダーと 中小企業労働環境向上 助成金	○リーダーとしての役割と心構え ○各種講習と考え方 ○中小企業労働環境向上助成金制度 の概要とポイント ○腰痛予防対策チェックリストの利 用	9:00 ～ 10:30	長崎リハビリテーション 病院 淡野 義長 愛媛県立医療技術大学 窪田 静
	腰痛の原因と対策	○介護者の腰痛発生状況とその 原因 ○腰痛予防に関連する法令、指針 など ○腰痛予防対策 ○労働衛生管理のすすめ方 ○機器導入効果の検証方法	10:30 ～ 12:00	長崎リハビリテーション 病院 淡野 義長 愛媛県立医療技術大学 窪田 静
	介護作業とリフト	○リフトの種類と特徴 ○吊具の種類と特徴 ○介護作業のアセスメント ○次回実技の概要説明	13:00 ～ 15:00	長崎リハビリテーション 病院 淡野 義長 愛媛県立医療技術大学 窪田 静
	リフトインストラクター試験 筆記試験			15:30～ 17:30
2 日 目	移乗関連用具 指導法	○リフト等の使い方 ○リフト等の指導法 ○機種別（選択）実技 ○個別相談	9:00 ～ 15:00	長崎リハビリテーション 病院 淡野 義長 リフトメーカー
	リフトインストラクター資格制度試験 実技			15:30 ～ 17:30
講師	長崎リハビリテーション病院 淡野 義長 氏 (認定作業療法士) 愛媛県立医療技術大学 准教授 窪田 静 氏 (看護師)			

今回のリフトリーダー講習会開催にあたり・・・

今年度のテーマについて

厚生労働省が発表した需給推計によると、2025年度には介護職員が約253万人必要になるとされています。それに対し供給の見込みは約215万人。およそ38万人の介護職員が不足する見込みです。

愛媛県は、2025年度には介護職員が約35,800人必要になるとされています。それに対し供給の見込みは約32,170人。3,638人の介護職員が不足する見込みです。

なぜ介護職員は、こんなにも人手不足に悩まされているのでしょうか？

また、愛媛県での介護事故の発生は、平成28年度3008件 昨年比1.1%増加。

死亡66件 骨折1164件と誤飲・誤嚥や転倒・転落などの事故が多くみられます。

厚生労働省も介護保険施設や有料老人ホームなどで利用者が被害を受ける不慮の事故はどれくらい起きているのか——。全国的な実態調査に乗り出す方針を打ち出しています。

どんなシーンで危険が生じやすいか広く共有し、再発を防ぐ有効な対策を立案する必要がある・・・。

そうした対策は、

「介護従事者が、要介護者の残存機能を生かした介護を実践し、人間の持つ自然な動きに沿った介助を行うとともに、適切な福祉用具・機器を使用しながら、要介護者及び介護従事者双方の負担軽減とケアの質が向上できるような介護手法を確立する事。

「抱え上げない介護」等 介助方法の改善・福祉用具の利用・・・という事になります。

昨年から、「ノーリフティングケア」 介護する側、される側の双方が安全で安心な

「抱え上げない」「持ち上げない」「引きずらない」ケア。

利用者の状態に合わせて、福祉機器を有効に活用して取り組むケアで、双方の健康的な生活を保障するケアの実践を推進しています。

それにより、

拘縮や褥瘡（じょくそう）などの予防 ・ 2次障害を防止し、自立度が向上

リフトなどを使うことでケアの質が向上。

職員の移乗ケア時の事故防止・腰痛予防で、職場定着率も向上・人材確保対策

初心に帰って・・・介護の改善・・・当たり前な安心安楽な介護を理解・実践できる

リフトリーダーとして中心的な活躍を期待してこの講習会を企画いたしました。

福祉用具メーカーの皆さんのご協力も得て、多くの体験ができます。

プラネット愛媛 ・ 愛媛県福祉サービス協会